



古今名婦鏡

娼妓喜遊

喜遊の江戸産小して町田大正庵の女あり父病で其家貧し故小悪人で父の病と救んと欲し身と横濱岩倉樓小妾給て其金を以て父の面藥充つ一夜亞人樓上小来つて喜遊と賤へんと爲る喜遊慷慨の餘り和歌をのこし自殺せりと云ふ其歌云

「腐るだも厭ふりやの女所死
与る是朱利かみ祓へぬはじ



松本
吟光



刀本山

